

2015年10月25日

石垣市長 中山 義隆 殿

琉球民族独立総合研究学会  
琉球 宜野湾市宜野湾 2-6-1 番5517



八重山伝統の哲学「ヤナムヌ外なしミリク世ばなうれ：非武装」  
を柱とした自衛隊配備の不要について（要請）

琉球民族独立総合研究学会(略称 ACSILs : The Association of Comprehensive Studies for Independence of the Lew Chewans) は 2013 年 5 月 15 日に設立された学会組織です。当学会は、①琉球の島々に民族的ルーツを持つ琉球民族の琉球民族による琉球民族のための学会、②琉球の独立が可能か否かを逡巡するのではなく、琉球の独立を前提とし、琉球の独立に関する研究、討論、そして実践を行う学会、そして、③全ての軍事基地の撤去を目指す学会、という 3 つの特徴を備えた学会です。当学会は、独立を実現するためには何が必要なのか(独立のプロセス、政治、経済、行政、法律、福祉、教育、国際関係、アイデンティティ、文化等)、多角的ならびに総合的な研究、討論を行い、それらを通して、人材の育成を行います。研究成果を踏まえて、国連の各種委員会、国際会議に参加し、琉球独立のための世界的な運動等も展開しています(より詳しくは添付いたしました青色のリーフレットをご参照ください)。

さて、この度、おかげさまをもちまして、2015年10月25日、石垣市民会館中ホールにおきまして琉球民族独立総合研究学会(ACSILs)第12回オープン・シンポジウム「八重山から考え、実践する琉球独立—教育、平和をキーワードに—」(基調講演:「八重山の平和について」慶田盛安三氏(竹富町教育委員会(前)教育長)、パネリスト:石垣金星氏(ACSIL 会員、西表をほりおこす会代表)、新垣重雄氏(ACSIL 会員、島の未来を考える島民会議共同代表)、他)を開催いたしました(より詳しくは添付いたしましたシンポジウムの配布資料ならびに新聞報道記事をご参照ください)。また、翌日の26日には琉球民族独立総合研究学会(ACSILs)第5回学会大会・総会を開催いたしました。

これらシンポジウムならびに会議での学びをもとに、琉球民族独立総合研究学会(ACSILs)第5回総会におきまして、以下の要請が全会一致で採択されました。

つきましては、以下、要請いたします。

- 記 -

琉球からの全ての軍事基地撤去を目標に掲げ、琉球諸島の真の平和実現を希求する本学会は、八重山伝統の哲学「ヤナムヌ外なしミリク世ばなうれ：非武装」を柱とした自衛隊配備の不要を、石垣市と石垣市議会に対して要請いたします。

以上

添付資料：琉球民族独立総合研究学会(ACSILs)リーフレット、オープン・シンポジウムの配布資料、新聞報道記事。

